



# おくたま

第206号

令和5年8月5日発行

# 町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/>

## 第2回定例町議会

### 『議員定数2名減を可決』

第2回定例会は、6月9日から6月15日までの、会期7日間にわたり開催され、議員提出議案第2号「奥多摩町議会議員定数条例」が賛成多数により可決されたため、次の町議会選挙から、議員定数が2名減の10名として行われることとなりました。

なお、議員提出議案第2号の可決に伴い、定数改定後は更なる改定等は行わない等、4項目について決議する、議員提出議案第3号「同条例に関する附帯決議」が全議員の賛成により可決されました。

#### ○附帯決議内容○

1 議員定数削減により現行の12人から10人となるが、更なる議員定数の削減は議会運営に支障が生じるため、今後大幅な社会情勢等の変化があった場合を除

き、議員定数の削減を実施しない方針である。

2 今後、議員報酬等については町の特殊な地域性を考慮し、現状を維持することを求める。

3 議員の調査活動等の更なる充実のため、政務活動費の増額を求める。

4 議会事務局の体制強化を求める。

#### ※附帯決議とは：

法律上のものではなく、付随的につけられた意見又は要望の決議であり、道義的なものであって、条例や規則のように拘束性はありません。

### 議員提出議案

次の議案が提出され、賛成多数で可決されました。

#### ○議員提出議案第2号

奥多摩町議会議員定数条例

#### ○議員提出議案第3号

奥多摩町議会議員定数条例に関する附帯決議

### 賛否の分かれた議案（奥多摩町議会議員定数条例）

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	石田 芳英	小峰 陽一	澤本 幹男	大澤由香里	木村 圭	小山 辰美	相田恵美子	森田 紀子	伊藤 英人	議員名
○	※	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	議案番号
												議員提出議案第2号

【賛成・・・○ 反対・・・× ※議長は裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。】

### 町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり承認、可決、同意されました。

#### 【専決処分】

○議案第27号  
町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

○議案第28号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○議案第29号

国民健康保険条例の一部を改正する条例

○議案第30号

令和4年度奥多摩町一般会計補正予算(第5号)

#### 【報告】

○報告第1号  
令和4年度奥多摩町一般会計

予算繰越明許費繰越計算書について

#### 【条例】

○議案第31号  
こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

○議案第32号

奥多摩町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

#### 【人事】

○議案第33号

固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

加藤竜也氏(新任)

(大丹波在住)

川久保義彦氏(新任)

(常磐在住)

○人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員、原島貞夫氏の任期満了に伴い、その後任とし

て同氏を推薦することに適任と判断しました。

原島貞夫氏(再任)  
(丹三郎在住)

#### 【補正予算】

○議案第34号  
令和5年度奥多摩町一般会計補正予算(第1号)

### 陳情の取扱い

審議されたのは、陳情1件で、次のように決定しました

【不採択としたもの】

○陳情第2号  
ふるさと納税制度を利用してスギ花粉を減らす取り組みを・・・とする陳情書

#### 賛否の分かれた議案

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	石田 芳英	小峰 陽一	澤本 幹男	大澤 由香里	木村 圭	小山 辰美	相田 恵美子	森田 紀子	伊藤 英人	議員名
○	※	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	議案番号
												陳情第2号

※議長は、裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。

陳情第2号については、総務文教常任委員会にて「不採択すべきもの」と決定して本会議2日(6月13日)に「不採択」とすることに賛成か反対の採決を諮りました。

【賛成・・・○ 反対・・・×】

# 一般質問

令和5年第2回定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、8月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。

QRコード



- (1) 10番 宮野 亨議員(4ページ)  
 問1 町民にとって便利な行政窓口(おみやみコーナー)を  
 問2 認知症徘徊対策のための、QRコード付きラベル・シールについて  
 問3 骨髄移植ドナー支援事業奨励金制度について
- (2) 7番 澤本 幹男議員(4ページ)  
 問1 町民が利用しやすい消火器の設置について  
 問2 川井生活館について
- (3) 12番 原島 幸次議員(5ページ)  
 問1 道路及び橋やトンネルなどのインフラ(社会基盤)の整備状況について
- (4) 9番 石田 芳英議員(5ページ)  
 問1 「カーボンニュートラル」の広域的連携による町おこしを
- (5) 4番 小山 辰美議員(6ページ)  
 問1 「健康寿命の延伸」への取り組みについて
- (6) 5番 木村 圭議員(6ページ)  
 問1 治安・防犯体制の充実について

- (7) 3番 相田恵美子議員(7ページ)  
 問1 大学連携事業等の進捗状況について  
 問2 学校内の安全について
- (8) 1番 伊藤 英人議員(7ページ)  
 問1 放課後居場所づくり事業と放課後等デイサービスについて  
 問2 奥多摩町と林業の将来について  
 問3 丹三郎地内定住対策事業にともなう関連事業について
- (9) 2番 森田 紀子議員(8ページ)  
 問1 地域連携型認知症疾患医療センターとしての奥多摩病院のあり方について
- (10) 6番 大澤由香里議員(8ページ)  
 問1 庁舎建設の進捗状況について  
 問2 熱中症対策について
- (11) 8番 小峰 陽一議員(9ページ)  
 問1 山間部への物資輸送にドローンの活用を推進できないか



公明党  
みやの  
宮野 亨 議員

問

① 町民にとって便利な行政窓口(おくやみコーナー)を  
② 認知症徘徊対策のための、QRコード付きラベル・  
シールについて  
③ 骨髄移植ドナー支援事業奨励金制度について

答

① 住民課総合窓口係1か所で手続きは全て行える  
② 徘徊高齢者早期発見ステッカー配布事業を実施している  
③ 早期に事業実施できるように補正予算をくむ

質問1 町民にとって便利な行政窓口

(おくやみコーナー)を。

質問2 認知症徘徊対策のための、QR

コード付きラベル・シールについて。

質問3 骨髄移植ドナー支援事業奨励

金制度について。

町長1 「おくやみコーナー」とは、死  
亡や相続に関する役所手続きの案内  
や申請書の作成サポート、各種証明  
書の取得サポートなどを行う特設窓  
口である。当町では、家族が亡くな  
れた際の手続きに特化したコーナー  
こそ設けていないが、すでに、遺族が  
手続きに来町された際には、各課・各  
窓口を移動することや同じ説明を何  
度も行うことなく、特別な事例を除  
き、住民課総合窓口係1か所で必要  
な手続きを行えるワンストップサー  
ビスを提供できていると考える。今  
後は先進自治体で作成している「お  
くやみハンドブック」等を参考に、内  
容の見直しを図り、役場以外の手続



自民党清新会  
さわもと  
澤本 幹男 議員

問

① 町民が利用しやすい消火器の設置について  
② 川井生活館について

答

① 適切な場所に屋外用消火器を設置  
② 生活館の建替えは計画的に整備

質問1 奥多摩町内で火災が発生した

場合、消防署と消防団に出勤して頂

いている。実際に火災が発生した場

合には初期消火が一番大切であり、

そのために消防署・消防団が到着す

るまでの時間に初期消火をする必要

がある。簡易消火器や家庭用大型消

化器の使用方法は防災訓練等で経験

しており、又消防団OBもいる。町内

にもう少し多く設置したらどうか。

質問2 川井生活館は現在、道路から

階段で一階下に降りなければならな

い建物である。老人クラブ定例会や

選挙の投票所として使う際、階段を

使うために足が不自由な高齢者や障

がい者は利用しにくい状況である。

① 高齢者や障がい者が利用しやすい

ように改修するのか。② 災害時の避

難所として大丈夫か。③ 川井八雲松

葉地区に若者住宅等の計画があるが、

予定地内空き地に集会所等を作る考

えはあるのか。町長1 町では令和3

年度に町内に屋外用の消火器格納箱

17台「蓄圧式粉末消火器17本」を設

置した。火災が発生した場合の「初期

対応」として、「消火器」による初期

消火は延焼を少なくするため有効

な手段であることから、今後、消防署

及び消防団と連携協議し、自治会皆

様にご理解ご協力をいただき、適切

な場所に「屋外用消火器」の設置を検

討していく。町長2 川井生活館は昭

和61年度「鉄筋コンクリート平屋建

て」で建設。① 川井生活館の出入口の

階段の改修は現在の立地条件から簡

単には解決できない状況であるが、

実現可能な範囲での対応は行ってい

く。② 土砂災害特別警戒区域と隣接

しているが、新耐震基準の建物で震

度6強から震度7レベル対応の建物

で、一次避難所として有効である。③

この場所は土砂災害警戒の規制がな

い区域であり、川井自治会の要望を

踏まえ前向きに検討していく。



自民党清新会  
はらしま ゆきつぐ  
原島 幸次 議員

問

道路及び橋やトンネルなどのインフラ  
(社会基盤)の整備状況について

答

引き続き、インフラ施設の維持管理に  
努める

質問 道路や橋、トンネルなどのインフラの老朽化が急速に進んでいる。

当町が管理する道路や橋は数が多く、予算が限られているため優先順位をつけ、効率的に補修していくことが大切であり老朽化は今後さらに進行する。早期や緊急の補修が必要になる前に、早めに手入れをする「予防保全」が重要と考える。また、点検の方法も目視が困難な部分にドローンを投入、レーザー照射で損傷を見つけたり、最新技術を活用することも必要である。町の所見は。①当町が管理している橋やトンネルは何か所あるのか。②老朽化している橋やトンネルはあるのか。③早期や緊急の補修が必要になるところはあるか。④老朽化が進んで行くなか、安全に使用するため町としての対策は。



町長 ①162橋、4トンネル。②22橋、4トンネル。③2橋、2トンネル。

④老朽化が進んで行くなか、安全に使用するため町として住民皆様の生活を根底から支え、時には防災・減災の役割を担う「インフラ施設」は、日常生活において当たり前のように存在しているが、何もしなくても安全に維持され、いつまでも使い続けられるということではない。このため「各インフラ施設」を対象とした道路法の規程に基づく定期点検において、最新技術の活用を図りながら継続して点検を実施、得られた点検結果を「各インフラ施設」の「カルテ」として、データの蓄積及び管理を行い、それぞれの個別情報に基づく措置を講じることによって「インフラ施設」長寿命化を図り、住民皆様が安全に安心して利用できるよう、引き続き、施設の維持管理に努めていく。



都民ファーストの会  
いしだ よしひで  
石田 芳英 議員

問

「カーボンニュートラル」の広域的  
連携による町おこしを

答

協議会の設置や奥多摩町地球温暖  
化対策実行計画の策定などを行う

質問 政府は令和2年10月に2050年(令和32年)までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことと宣言している。近年、様々な気象災害が発生し、今後気象変動に伴い、豪雨や猛暑のリスクは更に高まること予想され、日本においても農林水産業、自然生態系、健康面、経済活動などに影響が出ると指摘されている。

町では既に京都議定書を受けて平成21年11月に奥多摩町地球温暖化防止実行計画を策定し、町公共施設における温室効果ガスの削減に手だてをされている。しかし、森林面積が94%の奥多摩町は、町外に対しても民間企業や基礎自治体との広域的な連携によって、温室効果ガスの削減に寄与でき、それが町おこしに繋がっていく可能性がある。

町長 広域的連携の現状は、武蔵野市、昭島市、日本航空電子グループなどと森林整備などを進めてきており、また令和3年8月6日に町と包括連携協定を締結した野村不動産ホールディングスが設立した森をつなぐ合同会社と、大塚山の北側に広がる約130haの町有林に30年の地上権設定契約を交わし、東京都森林組合、東京森と市庭とも連携し、搬出木材を活用していく。今後については、森林環境譲与税を活用し、森林を持たない特別区と森林を持つ多摩地域の市町村が、本年7月に参加自治体による協定を締結し、協議会を設置する。また第2次奥多摩町環境基本計画の今年度中での改定に向けて準備を進め、奥多摩町地球温暖化対策実行計画も並行して策定していく。この計画により、温室効果ガスの吸収源対策も含め、環境審議会等の意見を伺いながら、今後方針の検討を進めていく。



山なみ会  
こやま たつみ  
小山 辰美 議員

問 「健康寿命の延伸」への取り組みについて

答 今後も各事業の拡充・推進を図る

質問人は誰でも、「健康でいつまでも元気で生活したい」と願っている。町の第5期長期総合計画における基本方針のひとつ「みんなで支えるホットなまちづくり」を達成させるための施策に「誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり」を掲げ、その中に「健康寿命の延伸」が位置づけられている。町民の健康意識の啓発や運動・食を通じての健康づくり、予防事業など様々な施策を実施している。「特定健診の受診率」も少しずつ増加している。町の「健康寿命の延伸」に対する施策は課題もあるが評価できる。今後、目標達成のため現在実施している諸施策、課題の改善、今後の取り組みは。

健康寿命の延伸分野の課題では、運動・食を通じての健康づくりに係る各種事業に男性の参加者が少ないことを課題として認識している。シニア筋トレルーム「にっこ古里」においては、男性の参加も他の事業に比べ多い傾向である。福祉会館2階にある機能訓練室での筋力向上トレーニング事業を見直し、来年度から、「にっこ古里」と同じ形態で開設できないか検討している。元氣アップおくとま（健康相談事業）では特定健診、後期高齢者健康診査の結果に基づき、保健師・管理栄養士を通じて積極的に参加を促し、地域包括支援センターの専門職とも連携し、介護予防事業における訪問サービスや普及啓発事業の推進も図る。



町長長期総合計画の理念を踏まえた地域保健福祉計画の実施計画として健康増進計画・食育推進計画を改定し、各種施策の基本的な方向性を見直し拡充、推進を図っている。



自民党清新会  
きむら けい  
木村 圭 議員

問 治安・防犯体制の充実にについて

答 今後も引き続き防犯活動を支援し、各関係機関と協議しながら設置する

質問安全で安心な日本の治安は、まさに日本の誇りであり、活力ある社会を作り出すための前提で、経済の成長に寄与するなど、社会・経済活動を支える根幹となるものである。最近白昼堂々とテレビドラマの撮影をしているかのような強盗事件、闇バイトによる強盗殺人事件、特殊詐欺などが多発している。今後当町においても、コロナ感染症が5類移行により、観光客の増加、多様化による様々なトラブルや犯罪が起こることが予想される。住民や観光客の安全・安心を確保するため以下質問する。①現状及び今後の治安・防犯体制は。②街頭防犯カメラの増設は。

町長①青梅警察署管内における過去5年間の「全刑法犯」の認知件数の推移を確認すると、「刑法犯」「凶悪犯」「粗暴犯」「侵入窃盗犯」「非侵入窃盗犯」とともに概ね減少傾向と報告されている。特に「オレオレ詐欺（等）特殊詐欺被害は令和4年が9件・約2068万円と被害額が高額であることが分かる。「交通事故死傷者数」は平成30年516件、令和元年411件、令和2年396件、令和3年305件、令和4年323件が報告されている。不審者等による犯罪防止等として、国道411号の町内の主要交差点5箇所「防犯カメラ」を設置している。また、小・中学校においては、「古里小（4台）」、「氷川小（4台）」、「奥多摩中（5台）」の「防犯カメラ」を設置している。今後、防犯対策では引き続き、「防犯活動への支援」や、平成30年度から令和6年度までの7か年計画で、町内18自治会に設置されている約1400箇所の防犯灯の「LED化」を推進し、令和6年度には完了の予定。②「街頭防犯カメラの増設」は青梅警察署、奥多摩交番、各駐在所と協議しながら必要な箇所に設置する。



ガジュマルの会  
あいだえみこ  
相田恵美子議員

問

① 大学連携事業等の進捗状況について  
② 学校内の安全について

答

① 多摩大学と調整を図り定めていく  
② 都教育委員会などと連携し進めていく

**質問1** 令和5年度の予算に新たに計上された大学連携事業だが、旧甲州屋の改修時期も含め具対的な計画と進捗状況は。

皆様の理解を得ながら連携して本事業を推進していく。**教育長2** ① 文部科学省から学校施設の校舎外の安全管理について東京都教育委員会経由で通達があり、町は町内の小中学校に「日常的な安全点検の実施について」の文書を発出し、点検を行うよう指示した。教職員が目視や状況により危険物の有無を確認したが、釘等の危険物の発見はなく、今後も校庭の安全点検に努めていく。

**質問2** ① 4月に杉並区の小学校で児童が校庭に放置された釘で大けがをした事故が発生。文部科学省は5月に全国の教育委員会に安全点検を徹底するように通達を出したが、奥多摩町の教育委員会の対応は。

② 各校とも危機管理対応として、防犯カメラを設置し、職員室のモニターで人の出入りを監視できるようにしている。不審者が校内に侵入した時の避難訓練も実施している。不審者侵入の際には「共通の合言葉」を校内放送し、生活指導主任を中心に児童生徒や教職員へ訓練を行っている。東京都教育委員会や青梅警察署など関係機関とも連携しながら不審者対策を進めていく。

② 小中学校での不審者対策は。

② 各校とも危機管理対応として、防犯カメラを設置し、職員室のモニターで人の出入りを監視できるようにしている。不審者が校内に侵入した時の避難訓練も実施している。不審者侵入の際には「共通の合言葉」を校内放送し、生活指導主任を中心に児童生徒や教職員へ訓練を行っている。東京都教育委員会や青梅警察署など関係機関とも連携しながら不審者対策を進めていく。

**町長1** 昨年9月の町と多摩大学との連携に関する協定は、包括的な連携を通じて、開かれた社会を志向し、自然豊かな奥多摩町を軸とした地域社会への貢献を図るために締結、ハード面もソフト面も大学と町、実際に運営していく事業者との連携の中で決まってくる。旧甲州屋の改修時期に関しては、現時点での具体的な改修時期は未定。関係人口とも言える学生の若い力を借り、地域の

① 西東京バスに問い合わせたところ、川井駅発丹三郎經由桜木行の土日のみの1日3便の運行となるのみで住民の利便性向上につながらない可能性、町の補助金が年320万円程度の増額、他の運行系統の調整、全社的な要員や車両の計画、予算の見直しなどが必要、とのこと。これらや、他の地域とのバランス、毎年の多額の町からの補助金を考えると、実現困難と認識。



どんぐり  
いとう ひでと  
伊藤英人議員

問

丹三郎地内定住対策事業にともなう関連事業について

答

新たな関連事業の実施は難しいと考えている

**質問** 町は定住対策事業として丹三郎での分譲地等の造成を計画している。事業に先立ち、環境と交通について、以下、要望する。

④ 西東京バスに問い合わせたところ、川井駅発丹三郎經由桜木行の土日のみの1日3便の運行となるのみで住民の利便性向上につながらない可能性、町の補助金が年320万円程度の増額、他の運行系統の調整、全社的な要員や車両の計画、予算の見直しなどが必要、とのこと。これらや、他の地域とのバランス、毎年の多額の町からの補助金を考えると、実現困難と認識。

① 用地周辺の日照確保を。

⑤ 万世橋は、歩道が狭く、大型車両の交通量が非常に多く、自治会・PTAなどから毎年改善要望をいただく。町で定期開催する「西多摩建設事務所・奥多摩町建設行政連絡会」と、議員で構成する「三多摩上下水及び道路建設促進協議会」で要望している。地権者の理解と協力が重要。

② 丹三郎産の建材の活用を。

③ 引き続き地域と連携を図りながら、西多摩建設事務所に強く働きかけていく。

③ 移動図書館の巡回を。

④ 西東京バスに問い合わせたところ、川井駅発丹三郎經由桜木行の土日のみの1日3便の運行となるのみで住民の利便性向上につながらない可能性、町の補助金が年320万円程度の増額、他の運行系統の調整、全社的な要員や車両の計画、予算の見直しなどが必要、とのこと。これらや、他の地域とのバランス、毎年の多額の町からの補助金を考えると、実現困難と認識。

④ バス運行について、西東京バスへはたらきかけを。

⑤ 万世橋の早期改善について、都へはたらきかけを。

⑤ 万世橋の早期改善について、都へはたらきかけを。

⑤ 万世橋は、歩道が狭く、大型車両の交通量が非常に多く、自治会・PTAなどから毎年改善要望をいただく。町で定期開催する「西多摩建設事務所・奥多摩町建設行政連絡会」と、議員で構成する「三多摩上下水及び道路建設促進協議会」で要望している。地権者の理解と協力が重要。

⑥ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。

⑥ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。

⑦ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。

⑦ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。

⑧ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。

⑧ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。

⑨ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。

⑨ 自治会長等の意見を伺いながら、図書館の指定管理者と巡回実施に向けて、早急に調整を進める。



宇宙 森田 のりこ 議員  
りこ 紀子 議員

**問**  
地域連携型認知症疾患医療センターとしての奥多摩病院のあり方について

**答**  
認知症早期診断等につながる普及啓発活動にも力を入れていく

**質問**奥多摩町では、認知症の人が状態に応じて適切な医療、介護、生活支援等の支援を受けることができる体制を町内に構築するため、地域連携型認知症疾患医療センターを平成28年度に奥多摩病院にて開設し、認知症医療・介護の推進役を担っている。平成28年度から現在まで、奥多摩病院が担ってきた地域連携型認知症疾患医療センターとしての実績と今後の方針について問う。

**町長**認知症疾患医療センターとは、認知症の相談員が本人、家族、関係機関からの認知症に関する相談に対応し、適切な医療機関等を紹介する機関で、認知症の診断、地域の関係機関との情報の共有化、適切な医療、介護、生活支援等への連携等を業務としている。奥多摩病院では医師1名、看護師3名による体制で運営しているが、主な活動内容は、医師による認知症疾患の鑑別診断、電

話等による相談の受付、入院が必要な患者の専門的な医療機関との連携をしている。また、町福祉保健課、地域包括支援センターとの情報連携会議への参加や支援事業としては、オレンジカフェへの参加やアルツハイマーデー奥多摩の開催等、関係者とのネットワークづくりを推進している。  
認知症は早期に介入を開始すれば、地域包括ケアシステムの中で支えていくことが可能であることから、地域包括支援センター認知症担当と協力しながら、オレンジカフェ・家族会フリージアの会等と連携し、家族介護者との関係づくりを進めるとともに、町民に認知症について理解をいただき、認知症の早期診断早期介入につなげるよう普及啓発活動にも力を入れていく。



日本共産党 おおさわ ゆかり 議員  
大澤 由香里 議員

**問**  
① 庁舎建設の進捗状況について  
② 熱中症対策について

**答**  
① 適宜、情報提供し、丁寧な事業を進める  
② 来年度に向け、国に合わせ強化していく

**質問1**①住民の皆さんが庁舎建設の進捗状況を知ることができる方策は。②最も懸念されているアクセスの問題の交渉状況(JRと奥多摩工業)は。③今後の計画の中で住民の意見を聞く場はどのように設定されるのか。**質問2**①エアコンを持っていない、または持っていないも使えない生活困窮世帯の把握と命を守る対策は。②経済的理由でエアコンの使用を控える方の把握と対策は。③エアコン購入費用や電気代への助成の考えは。

**町長1**①現在、設計業者について選定作業を進めている。今後も、これまでの方法(広報、町HP、役場2階の企画財政課、子ども家庭支援センター及び保健福祉センターに、庁舎建設委員会の会議録や基本計画の閲覧用資料を配置)を組み合わせたから、節目のタイミングで住民皆様へ進捗状況を知らせる。②現在も協議中。③今後、基本設計等を進めて

いく中で、例えば、庁舎の外観あるいは仕様などが一定の形でまとめられ、可視化されるような状況に至った場合に、パブリックコメントあるいは住民説明会を想定。また、ステークホルダーといった方々からも意見をいただくことを想定している。今後も適宜、情報提供等を行い、住民皆様の意見や考えも確認しながら、丁寧な対応を心掛け、事業を進める。

**町長2**①②生活館等の利用時、または自治会役員、各地区の民生・児童委員、地域包括支援センターの専門職などを通じて、適切に把握していく。住民税非課税世帯を対象に、1世帯あたり3万円を支給する「臨時特別給付金支給事業」を実施。③エアコン購入費用等に特化した町単独での財源確保は難しい。臨時特別給付金で充当を。



自民党清新会  
こみね よういち  
小峰 陽一議員

質問 平成28年3月議会、澤本議員よりドローンの活用について質問があり、研究機関と業務提携や庁舎内プロジェクト等の検討、ドローンの予算化など積極的な対応も見られたが、法の整備、安全性、機体の性能等、問題が多く、頓挫状態となった。令和元年の台風19号による日原街道の崩落により、小池都知事が来町し物資輸送が行われた。令和4年12月に、航空法が改正され、ドローンによるレベル4運航が可能となり本年5月には日本郵便が実証実験を試み、無事に輸送ができたと聞く。山梨県小菅村では民間会社が山間部への個別配送を実施。現在ドローンによる実証実験中で、近い将来航空法の認可申請を予定していると聞く。数年前からドローンの活用が検討され、非常に期待をもって見ていたが数年が経過。これからのドローンに対する考えを聞く。今後の東京都、日本郵便の方向性など伺う。

問

山間部への物資輸送にドローンの活用を推進できないか

答

ドローンの物資輸送の社会実装化を見据え、住民にとってメリットがある実施内容に努める

町長 小菅村ではSky Hub(スカイハブ)ストアがドローンと車による配送を実施している。東京都では、小河内ダムの高所点検や水中ドローンによる水深約100m付近の取水口点検を実施。町内の取り組みは、日本郵便が有人地帯の補助者なしの飛行に成功した。1自治体のみのドローンの利活用は困難と考え今後は、日本郵便との連携協力体制を継続し、町や住民にメリットがある実施内容に努める。



次回9月第3回定例会日程(予定)

議会運営委員会 8月30日(水)  
本 会 議 9月4日(月)・5日(火)・7日(木)・15日(金)  
※一般質問は7日(木)  
決算特別委員会 9月12日(火)・13日(水)  
陳情受付期間 8月17日(木)まで

会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。  
☎0428(83)2302(議会事務局直通)

議会だよりのご感想をお寄せください。  
また、議会に対するご意見ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

請願・陳情は!

- ① 9月定例会では、8月17日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。
- ② 請願には必ず1人以上の紹介議員が必要で、(陳情は不要です)
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名(記名の場合は押印)してください。
- ④ 提出は議会事務局へご持参ください。(郵送不可)
- ⑤ 詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

議会日誌

5月

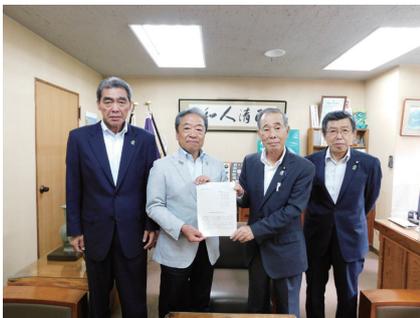
- 12日 奥多摩町体育協会定期総会・懇親会
- 16日 西多摩郡町村議会議長会定期総会・懇親会
- 17日 福島県飯館村が行政視察
- 18日 三多摩地区消防運営協議会通常総会(書面開催)
- 22日 全員協議会・小学校のあり方検討委員会報告会
- 23日 東京都町村議会議長会役員会・定期総会・議員講演会・意見交換会
- 24日 町村議会議長・副議長研修会
- 25日 奥多摩町老人クラブ連合会定期総会
- 26日 青梅交通安全協会定期総会
- 27日 例会出納検査・学校給食センター会計決算監査
- 29日 特定非営利活動法人タンポポの会定期総会
- 30日 奥多摩中学校体育大会
- 31日 奥多摩郷土芸能保存団体協議会定期総会
- 32日 奥多摩町正副消防団長OB会懇親会
- 33日 三多摩上下水及び道路建設促進

6月

- 2日 協議会理事会・総会
- 9日 青梅商工会議所第192回通常議員総会・懇親会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 町議会第2回定例会
- 14日 (一財)木村奨学会評議員会
- 15日 (二社)奥多摩観光協会第11回定時社員総会・懇親会
- 16日 町議会第2回定例会
- 17日 奥多摩町のちを支える自殺対策推進協議会
- 18日 町議会第2回定例会
- 19日 要望活動(議員定数削減関係)
- 20日 例会出納検査
- 21日 奥多摩町健康づくり推進協議会
- 22日 奥多摩町シルバー人材センター定時総会
- 23日 西秋川衛生組合清掃施設に係る地元自治会との協議会
- 24日 西多摩郡町村監査委員連合会定期総会
- 25日 第31回奥多摩町消防団ポンプ操法審査会
- 26日 西多摩地区議長会定例会議・懇親会
- 27日 奥多摩町青少年問題協議会
- 28日 第55回東京都市町村総合体育大会開会式
- 29日 議会だより編集委員会
- 30日 奥多摩町表彰審査委員会

7月

- 1日 三団体主催青梅警察署長(新旧)歡送迎会
- 2日 青少年対策地区委員会連絡協議会講演会
- 3日 議会だより編集委員会
- 4日 東京都町村会・東京都町村議会議長会合同会議/結団式
- 5日 西多摩郡町村議会議長会優良町村議会行政視察(山形県遊佐町他)
- 6日 令和5年第1回西秋川衛生組合議会臨時会
- 7日 第55回三鷹・立川間立体化複々線促進協議会/第42回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会
- 8日 身体障害者福祉協会総会
- 9日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 10日 例会出納検査
- 11日 海外派遣事業壮行会
- 12日 三か町村議会議員広域連絡協議会総会・懇親会



議員定数削減関係の要望書を、師岡町長と井上副町長へ手渡す高橋議長と小峰副議長(R5.6.15)

編集後記

「フシグロセンノウ」と言う花は、ご存じでしょうか？田中澄江著「花の百名山」に雲取山の花として、「さえた朱いろの花弁の厚みをおびてるゆたかさ。対生した葉の花の重さをささえてたくましい形。それでいて一つも野卑ではない。日光の直射を避けた日かげの林間の下草の中に、点々としてひとりあざやかに咲き誇る。」と紹介されています。



フシグロセンノウ

この花は、むかし家の周りや登山道などに7〜8月にかけてあざやかな朱色の花を咲かせていました。目立つ色のためつまれてしまったのか、最近ほとんど見ることが出来なくなりました。常磐自治会長が中心になり、この花を増やす活動を数年前から行い、昨年、登計トレイル入口周辺に移植しました。今年も見事に咲き誇っています。今後、むかし道などにも移植する計画だそうです。この様な地道な活動が、奥多摩の魅力の下支えをしているのではないのでしょうか。

木村 圭 (記)  
 伊藤 英人 森田 紀子  
 相田 恵美子 小峰 陽一